

江東区 中小企業の景況

令和5年度第3・四半期
 発行元：江東区地域振興部経済課
 調査機関：(一社)東京都信用金庫協会
 ※詳細はホームページをご覧ください。

【調査の概要】

- 調査時期・・・・・・・・・・ 令和5年10月～12月を対象に令和5年12月上旬に実施
- 調査方法・・・・・・・・・・ 面接聴取法
- 調査の回収状況・・・・・・・・ 有効回収率 97.6%

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	109	107
卸売業	23	23
小売業	43	43
サービス業	37	34
総合	212	207

業況 (△20.7→△20.8) は横這いで推移した。
 ～サービス業で11.1ポイント、卸売業で6.6ポイント改善したが
 小売業と製造業でわずかに悪化～

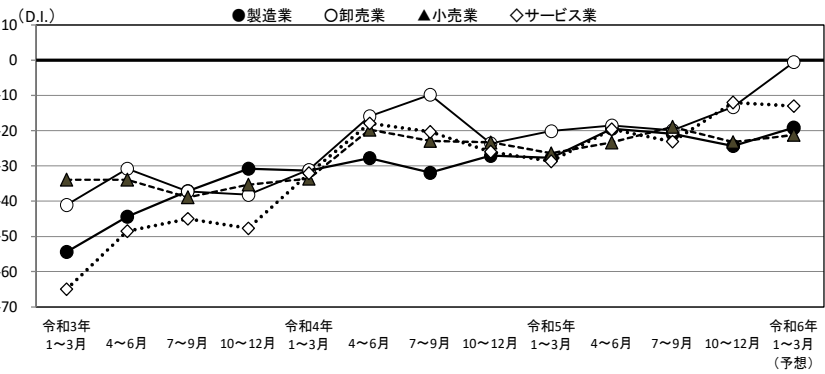
業況判断DI (季節調整済、「良い」企業割合-「悪い」企業割合) は-20.8 (前期は-20.7) と横這いで推移した。業種別に見ると、サービス業で11.1ポイント、卸売業で6.6ポイント改善したが、小売業で4.3ポイント、製造業で3.4ポイントそれぞれ悪化となった。

来期は、卸売業と製造業で5ポイント以上改善し、小売業で2ポイントの改善を見込んでいるが、サービス業では1.0ポイントの悪化を予想しており、全体で4.3ポイントの改善が見込まれている。

●各業種別業況の動き

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-20.9	-24.3	-3.4	-19.2	5.1
卸売業	-19.9	-13.3	6.6	-0.5	12.8
小売業	-18.9	-23.2	-4.3	-21.2	2.0
サービス業	-23.1	-12.0	11.1	-13.0	-1.0
総合	-20.7	-20.8	-0.1	-16.5	4.3

※前期 (2023年7～9月) 来期 (2024年1～3月)
 ※「総合」は上記の4業種でのD.I値



●各業種別の今期の特徴と来期の予測

製造業	<p>業況は悪化幅が多少拡大した。売上額は減少傾向がわずかに強まり、収益も減益傾向が大きく強まった。価格面では、販売価格は前期同様の上昇水準で推移し、原材料価格も上昇幅がわずかに拡大し厳しさが強まった。原材料在庫は前期同様の不足感が続いた。</p> <p>来期の業況は多少持ち直すと予想している。売上額は幾分改善し、収益は減益幅が大幅に縮小すると見込まれている。販売価格は今期並の好調水準で推移し、原材料価格は厳しい状況は続くものの上昇傾向がやや弱まると見込まれている。</p>
卸売業	<p>業況は悪化傾向がかなり改善した。売上額は水面下ながら極端に持ち直し、収益も減益傾向が大幅に改善された。価格面では、販売価格は前期並の上昇傾向が続き、仕入価格は厳しい状況は続くものの上昇傾向が多少弱まった。在庫は品薄から過剰に大きく転じた。</p> <p>来期の業況は悪化傾向ながら大幅に持ち直し良化の兆しが見えてくると予想している。売上額と収益も大きく改善しプラスに転じると見込まれている。販売価格は好感度かなり後退するが、仕入価格は引き続き厳しい状況ながら上昇傾向がかなり弱まると予想している。</p>
小売業	<p>業況は悪化傾向が若干強まった。売上額と収益はともに前期並の減少・減益幅で推移した。価格面では、販売価格は上昇傾向がかなり後退し、仕入価格は前期並の上昇幅で推移し、在庫は前期並の品薄感が続いた。</p> <p>来期の業況は今期並の悪化幅が続くと見込まれている。売上額と収益も今期同様の減少・減益傾向で推移すると予想している。販売価格と仕入価格はともに上昇傾向が大幅に弱まると見込まれている。</p>
サービス業	<p>業況は水面下ながら大幅に持ち直した。売上額と収益はともに前期並の減少・減益幅で推移した。価格面では、料金価格は上昇がかなり強まり、材料価格は上昇傾向をやや強めて厳しさが増した。</p> <p>来期の業況は今期並の悪化幅で推移すると見込まれている。売上額は前期同様の減少傾向が続くが、収益は減益傾向が多少改善すると予想している。また、料金価格は今期並の上昇幅が続き、材料価格は上昇傾向がかなり弱まると見込まれている。</p>

特別調査

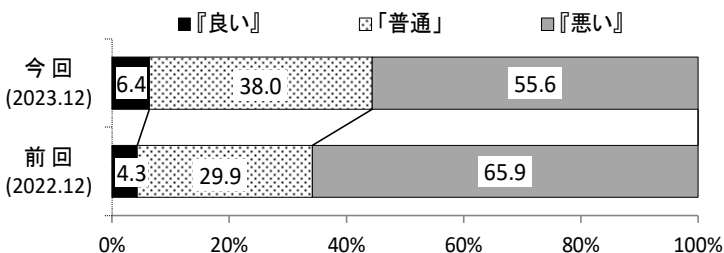
「2024年(令和6年)の経営見通し」

本調査結果の特徴	① 2024年の日本の景気見通し	『良い』 6.4% (前年比 2.1ポイント増) 『悪い』 55.6% (前年比 10.3ポイント減)
	② 2024年の自社の業況(景気)見通し	『良い』 10.4% (前年比 7.0ポイント増) 『悪い』 42.4% (前年比 5.9ポイント減)
	③ 2024年の売上額の対前年比伸び率	『増加』 21.8% (前年比 13.1ポイント増) 『減少』 17.3% (前年比 7.4ポイント減)
	④ 自社の業況が上向く転換点の見通し	『短期』 39.7% (前年比 9.5ポイント増) 『中期』 28.4% (前年比 5.0ポイント減) 『長期』 32.0% (前年比 4.4ポイント減)
	⑤ 2024年の価格動向の見通し	販売価格: 『上昇』 44.1% 「変わらない(一進一退など)」 40.1% 仕入価格: 『上昇』 59.0% 「変わらない(一進一退など)」 28.8%

① 2024年の日本の景気見通し

2024年の日本の景気見通しについては、新型コロナウイルスが5類に移行し、行動制限が撤廃されたことにより、正常な経済活動に戻りつつあることから、『悪い』（「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」の和）と回答した企業は55.6%で前回調査（65.9%）から10.3ポイント大きく減少した。一方、『良い』（「非常に良い」「良い」「やや良い」の和）と回答した企業は6.4%で、前回調査（4.3%）から2.1ポイント増加し、「普通」と回答した企業は38.0%（前回調査29.9%）であった。

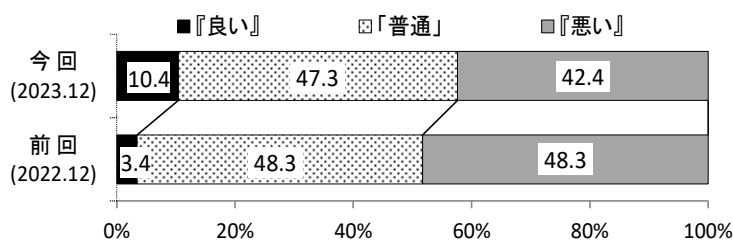
① 2024年の日本の景気見通し



② 2024年の自社の業況(景気)見通し

2024年の自社の業況(景気)見通しについては、『良い』（「非常に良い」「良い」「やや良い」の和）は前回調査（3.4%）から7.0ポイント増加し10.4%となった。一方、『悪い』（「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」の和）と回答した企業は42.4%で、前回調査（48.3%）から5.9ポイント減少した。なお、『普通』は47.3%（前は48.3%）ではほぼ前回並みであった。

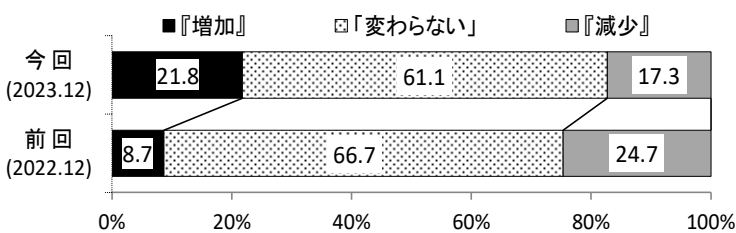
② 2024年の自社の業況(景気)見通し



③ 2024年の売上額の対前年比伸び率

2024年の自社売上の『増加』を予想している企業は21.8%で、前回調査（8.7%）から13.1ポイント大幅に増加した。一方、『減少』を予想している企業は17.3%で前回調査（24.7%）から7.4ポイントの減少となった。また、『変わらない』も61.1%で前回調査（66.7%）から5.6ポイント減少した。

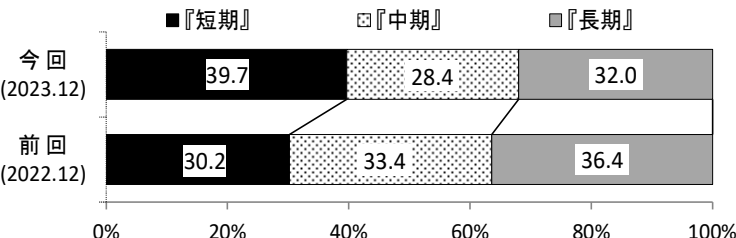
③ 2024年の自社の売上額対前年比伸び率



④ 自社の業況が上向く転換点の見通し

自社の業況が上向く転換点については、『短期』（「すでに上向いている」「6ヶ月以内」「1年後」の和）で上向くと回答した企業は39.7%となり、前回調査（30.2%）に比べ9.5ポイントの大幅な増加となった。一方、『長期』（「3年超」「業況改善の見通しは立たない」の和）と回答した企業は32.0%で、前回調査（36.4%）に比べて4.4ポイント減少し、『中期』（「2年後」「3年後」の和）と回答した企業も28.4%で、前回調査（33.4%）に比べて5.0ポイント減少した。

④ 自社の業況が上向く転換点の見通し



⑤ 2024年の価格動向の見通し

販売価格については、「緩やかな上昇（10%未満）」が41.4%と最も多く、「大幅な上昇（10%以上）」（2.7%）を合わせた『上昇』は44.1%となっている。一方、「下落」は1.8%、「変わらない（一進一退など）」が40.1%となっている。また、仕入価格については、「緩やかな上昇（10%未満）」が48.6%と最も多く、「大幅な上昇（10%以上）」（10.4%）を合わせた『上昇』は59.0%となっている。一方、「下落」との回答は無く、「変わらない（一進一退など）」が28.8%となっている。

⑤ 2024年の価格動向の見通し

